



せんしょう苑 望洋荘 便り

第130号
平成26年
9月発行

望洋荘での四人目の「百歳万歳」

—— 箱崎 タニさんをお祝いして ——

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

「望洋荘」を開設して、十周年を迎えた記念の年に、今回、当施設四人目の目出度い百歳の賀寿を、大正三年九月十五日生まれの箱崎タニ様が迎えられました。おめでとうございます。平成十七年五月一日に最初の百歳の賀寿を山際イクヨ様、二人目が平成十九年十一月二十四日に本導マサヨ様、三人目が平成二十三年三月二十五日に青木アサヨ様が迎えられました。特に青木様の百歳のお誕生日は、未だ東日本大震災の大混乱が続くまっただ中でした。災害復旧の慌ただしい時期にも関わらず、避難先であった須田医院にて、共に避難された方々と職員たちで、入手困難であったケーキを何とか手に入れ、心のこもった誕生会を開催しました。震災後の明るい話題として新聞の記事にも取り上げられました。荘内で最初に百歳の賀寿を迎えられた山際は、県内で第二位の長寿、百八歳の茶寿を元気に迎えるも残念ながら昨年十二月に他界されました。今回、箱崎タニ様が百寿を迎え、職員も含め入所者様の長寿に対する目的が出来たことは大変喜ばしい事と思っています。山崎さんに続けるように皆で頑張ってまいります。

しよう。

最近のわが国の「平均寿命」は、男性が七十九・六歳、女性が八十六・三歳。介護を必要とせず自立した生活を送れる「健康寿命」は、男性が七十・四歳、女性が七十三・六歳で、「平均寿命」と「健康寿命」の差は、男性が九年、女性が十二年余です。要介護者を取り巻く対策の一つとして、この「健康寿命」をいかに伸ばし、「平均寿命」との差を出来るだけ縮めることにより、介護や介助が必要な期間を短縮することが極めて重要であるとの指摘がなされています。

今回、百歳を迎えた箱崎さんは百才近くまで、子供や孫、曾孫（ひこ）に囲まれて、笑顔を絶やすことなく自宅で生活を楽しんでいました。つい最近まで私共のショートステイも利用しながらの生活でしたが、四月に入所なさいました。夕食時には杯に一杯のお酒を口をほそめながらちよこつちよここと舐めながら介護職員と明るく楽しく対話するほどの元気さです。百寿での祝賀会での長男の話では、生家の玉山から女学校（磐城女学校）までの十^キ余の道のりを歩いて通学をしていたとのこと。そして、嫁いでもからも惜しみなく身体を動かすことを苦にしなかったとのことです。その生活習慣が現在の健康の源に為っているのであろうと推察しています。

当然のことながら、箱崎さんのご長寿が家族の願いでもあり目標でもあります。私共職員もここに百才の方と共に生活しているという自負と励みを強く持ってまいります。そして、再度述べますが、百八歳まで元気でお暮しになっていた山崎さんに追いつき、追い越せるすように頑張ってまいります。

介護老人福祉施設 望洋荘

望洋荘祭り

九月十四日(日)望洋荘正面玄関前駐車場にて「望洋荘祭り」が行われました。当日はおそろいの法被を着て、「お祭りまだ始まんないの」と心待ちにしておられました。

立ち並んだ屋台を巡り、「これおいしいな」と焼きそばやかき氷、から揚げなどを食べられておりました。

また、今年は魚国総本社さんのゆるキャラ「おこめ丸」が来荘してくれました。「あんた何だい」「お化けだ」と初めのうちは怖がっておりましたが、祭りが終わりに近づく頃にはすっかり仲良くなり、一緒に記念の写真を撮ったりしていました。



箱崎タニ様百歳賀寿式

九月十五日(月)二階ホールにて、齢百歳となりました箱崎タニ様の賀寿式が行われました。

タニ様は御祝の杯を手に取り、しっかりと口をつけて飲まれておりました。「タニおばあちゃん百歳おめでとう」と書かれた大きなケーキを見て、「うわあすごいね」と驚かれていました。たくさんのお家族や関係者の方々に囲まれて、「ありがとうね」と太陽のような笑顔を浮かべられるタニ様のお姿は、見る人に元気を分け与えるものでありました。タニ様と共に生活させていただき、今日この日を迎えることが出来ました事を、職員一同心より嬉しく思います。



地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

フラダンス：アロハフラサークル様

九月二十八日(日)午前十時より、「アロハフラサークル」の皆様がボランティアでフラダンスを披露くださいました。サークルの皆様もこの時期、各施設の敬老会等があり、「多忙のところ時間を割いて来苑いただきました。みなさん若くスタイル抜群で、踊りの切れも素晴らしく、見る人を魅了するダンスでした。入居者様へレイのプレゼントまで頂き感謝感激です。最後はフラをみんなで踊りました。「アロハフラサークル」の皆様ありがとうございました。



九月三十日(火)正午十二時より、みまや東の入居者様三名で「スバリゾート ハワイアンズ」に行つて来ました。ハワイアンズには十二時三十分に着、まずは昼食を摂るためにお店を物色！ちよつとハワイアンな食事・・・フライシリンプとチキンバスケットなるものを注文。その正体は「エビフライと鶏のから揚げ！(笑)」お腹も満ちたし、その後、フラダンスにファイヤーショーを見学。最後にお土産屋さんでお買い物。みなさんお土産いっぱい、笑顔いっぱい帰って来ました。

ハワイアンズ見学・・・みまや東ユニット



好間中学校 体験学習

九月一・二日の二日間、好間中学校の三年生の生徒九名が職場体験にせんしょう苑にやってきました。



内郷第一中学校 体験学習

九月二十五日に、内郷第一中学校の三年生の生徒十名が職場体験としてせんしょう苑を学びの場としました。



ひとりずつ自己紹介の後、AKB48の曲に合わせてダンスを披露して頂きました。入居者様も生徒の真似をして踊ったり、手拍子をしたりと楽しまれました。



生徒達に将来の夢を発表して貰ったところ、医者や科学者、看護師、薬剤師などがあがり、入居者からは「頑張つて」「若いつて素晴らしいね」などの声もあり、みんなで拍手して激励しました。



イチヨウの木

街路などでイチヨウの黄葉が観られる季節となりました。イチヨウの木は古くから日本人と共にあり、親しまれてきました。

その材質は加工性に優れ歪みが出にくい性質を持つため、建物の構造材として広く利用されています。他にも基盤や将棋盤の材質として適切であるほか、イチヨウ材のまな板は高級品として取引されています。また脂分を多く含み水はけがよいため水廻りの造作材として重用され、さらには火に強い性質を持つので江戸時代には火除け地に多く植えられたといわれています。

イチヨウは黄葉時の美しさと、剪定に強いという特性から、全国のいたるところに植えられており、近年では約五七万本ものイチヨウが街路樹として植えられていると言われています。特に、東京の明治神宮外苑や、大阪御堂筋の街路樹などは、銀杏並木として知られています。落下した銀杏が異臭を放つため、街路樹への採用にあたっては、果実のならない雄株のみを選んで植樹する場合もあるそうです。

イチヨウの果実である銀杏は、茶碗蒸しの具として食卓でも親しまれています。熟すると半透明の鮮やかな緑色になりますが、水分を吸うことで不透明な黄色のぎんなんになります。

ちなみに、雄株と雌株の見分け方ですが、イチヨウの葉の中央の切れ込みが浅いのが雌株。深いのが雄株です。女はスカート。男はズボンと思うと覚えやすいですよ。



【十月の行事予定】

望洋荘

十月五日(日) 午後二時三十分より
「家族交流会」永崎ユニット

十月十二日(日) 午後二時より
「おやつバイキング」二階ホール

十月十九日(日) 午後二時より
「家族交流会」勿来ユニット

【十月のお誕生日】

望洋荘

十月二日(木) 四倉ユニット

佐藤 キクエ様 (八二歳) 誕生会

十月十一日(土) 四倉ユニット

坂本 ミイ子様 (九七歳) 誕生会

十月十三日(月) 豊間ユニット

矢内 光子様 (歳) 誕生会

十月十七日(金) 勿来ユニット

山廻邊 利勝様 (八四歳) 誕生会

十月二十七日(月) 薄磯ユニット

志賀 アサ子様 (九三歳) 誕生会

十月三十日(木) 四倉ユニット

大竹 サタヨ様 (九七歳) 誕生会

【十月の行事予定】

せんしゅう苑

十月二一日(火) 正午十二時より

「ハワイアンズ見学」みまや西ユニット

十月二六日(日) 午後二時より

「歌と踊りの鑑賞会」さつま芋の会様

十月二八日(火) 正午十二時より

「ハワイアンズ見学」みまや南ユニット

【十月のお誕生会予定】

せんしゅう苑

十月二一日(火) みまやユニット

神野 文子様 (八九歳) 誕生会

十月二六日(日) みまやユニット

鈴木 章子様 (八九歳) 誕生会

十月二七日(月) みまやユニット

永山 しげ様 (九〇歳) 誕生会

編集後記

『せんしゅう苑・望洋荘』便り

平成二十六年九月三十日発行

発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

地域密着型介護老人福祉施設 せんしゅう苑

電話 (0246) 38-6331

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373